

デイトリウムジャパン、HCIソフトウェアの最新版「DVX 4.0」を発表し、  
仮想化基盤における Tier1 アプリケーションの信頼性を向上

～ 併せてメガクラウドへのバックアップ無償トライアルプログラムを開始～

仮想化環境でのシステム性能を最大限に高速化するソフトウェアとデータ保護ハードウェアをセットにした、新世代コンバージド システムを提供するデイトリウムジャパン合同会社（本社：東京都港区、代表執行役員社長：河野通明、以下デイトリウムジャパン）は、I/O 高速化システムである「Datrium DVX（デイトリウム ディーブイエックス）」にて稼働するハイパー コンバージド インフラストラクチャー（HCI）ソフトウェアの最新版である「DVX 4.0（ディーブイエックス 4.0）」を発表し、仮想化基盤での Tier1（第 1 階層）アプリケーションの信頼性を大きく向上させました。今回の新しい HCI ソフトウェアにおいて、データベースの複数のコンピュータノードに分散して処理するクラスタリングをサポートするとともに、コンピュータノード内の SSD 障害時の可用性の向上を実現しました。

今回発表する HCI ソフトウェア「DVX 4.0」の新しい機能は以下のとおりです。

### **Oracle Real Application Clusters (Oracle RAC) サポート**

最大 4 ノードの vSphere クラスタにおける Oracle RAC をサポートします。

- ・ 「DVX Software」が稼働する「Datrium DVX」は、コンピュータ ノードにある SSD をキャッシュとして読み込ませることでシステム性能を最大限に高速化させます。Oracle RAC は CPU のコア数に対してライセンスされますが、「Datrium DVX」は一般的な HCI より少ない CPU コア数で稼働させることが期待できます。また、「Datrium DVX」はコンピューティングとデータ保護のレイヤーが分離しており、データ容量の拡張のためにコンピューティングまで追加する必要はありません。
- ・ Oracle RAC は最小構成が 2 ノードです。一般的な HCI の場合は最低 3 ノード構成が必要になるため、最小構成では CPU のコア数が余分に必要となります。「Datrium DVX」であれば 2 ノードでの構成も可能です。
- ・ Oracle RAC は 4 ノード構成であれば、3 ノードに障害が発生しても稼働させることができます。しかしながら一般的な HCI の場合、仮に 4 ノードのうち 3 ノードに障害が発生するとシステム全体が停止してしまうため、Oracle RAC の可用性に追随することができません。それに対して「Datrium DVX」であれば 4 ノードのうち 3 ノードに障害が発生しても稼働し続けることができます。

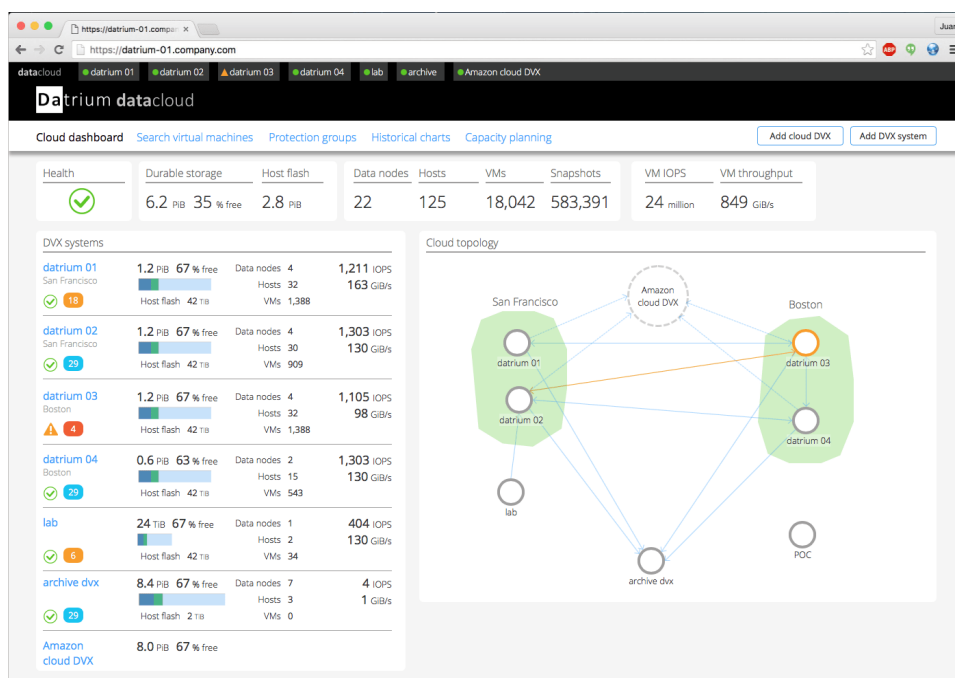
このように、「DVX 4.0」により、HCIであっても Oracle RAC によるパフォーマンスを最大限に活かした信頼性の高いミッションクリティカル環境（注1）を構築できるようになりました。

## SSD 障害時の可用性の向上（ピアキャッシュモード）

コンピューティング ノード内に搭載されている RAID コントローラーなどの障害により、仮にすべての SSD が利用できなくなった場合であっても、別のコンピュータに搭載されている SSD を暫定的に使用することで仮想マシンを継続稼働し続けることができます。これにより、SSD 障害時におけるフォールトトレランスが実現します。

そして、今回の HCI ソフトウェア新版の発表に併せて、新たにハイブリッドクラウドへの対応を促進させるプログラムを開始します。

「Datrium DVX」のデータを Amazon Web Service にバックアップするソフトウェア「Cloud DVX」を広くお客様にお試しいただくために「[Cloud DVX 無償トライアル プログラム](#)」を開始します。Amazon Web Service の 1 テラバイトに遠隔地バックアップデータを保存する権利を 1 年間無償でお使いいただくことができます。「Cloud DVX」ではグローバル重複排除を行うことにより、実質 6 テラバイトのデータ保護を無償で行うことが可能となります。なお、このプログラムは 2018 年 9 月末までに購入いただいた「Datrium DVX」システムに対して提供されます。



「Cloud DVX」管理画面

## 販売製品と価格について

- 「DVX 4.0」の主な仕様と価格は以下のとおりです。

	詳細	仕様	参考価格（税抜）
DVX 4.0	I/O 高速化ソフトウェア	フラッシュを搭載した業界標準サーバーにインストール可能。 ノードライセンス。	1,800,000 円

- 「Cloud DVX」の主な仕様と価格は以下のとおりです。

	詳細	仕様	参考価格（税抜）
Cloud DVX	Amazon Web Service を利用した遠隔地データ保管	永久増分ネイティブバックアップ および VM と vDisk レベルの 細かいリストアに対応。 5TB あたり 1 年間の利用料。	900,000 円
Cloud DVX 無償トライアル プログラム		1TB を 1 年間利用（注 2）	無償

※ご参考：「Datrium DVX」の主な仕様と価格

	詳細	仕様	参考価格（税抜）
DVX Data Node	データ保護機能を有した ストレージハードウェア	ハードディスク搭載。 2U ラックタイプ。 実効容量 14TB または 29TB。 (2-6X のデータ削減効果により、 29-180TB の論理容量)	10,725,000 円～
		SSD 搭載。 2U ラックタイプ。 実効容量 7TB または 16TB。 (2-6X のデータ削減効果により 14-96TB の論理容量)	19,500,000 円～
DVX Compute Node	フラッシュ搭載 サーバーハードウェア	1U ラックタイプ。 ※キャッシュ領域 SSD は オプションで選択可能。	1,867,500 円～

## 販売とサポートについて

「Datrium DVX」は Datrium 販売代理店（ノックス株式会社：2018 年 4 月現在）より購入いただけます。また、サポート サービスは購入先の販売代理店より提供されます。

---

(注1) システムの可用性は Oracle RAC に依存します。

(注2) 本日より 2018 年 9 月末日までにご購入いただいたシステムに対して提供されます。また、AWS 自体に掛かる費用はお客様自己負担となります。

---

## 参考資料

- Datrium DVX 画像：[http://s3-us-west-1.amazonaws.com/cdn.datrium.com/wp-content/uploads/2018/02/12104505/DatriumServersCombo\\_092917.jpg](http://s3-us-west-1.amazonaws.com/cdn.datrium.com/wp-content/uploads/2018/02/12104505/DatriumServersCombo_092917.jpg)
  - DVX Compute Node 画像：[http://s3-us-west-1.amazonaws.com/cdn.datrium.com/wp-content/uploads/2018/02/11171042/Datrium\\_Black-Single.jpg](http://s3-us-west-1.amazonaws.com/cdn.datrium.com/wp-content/uploads/2018/02/11171042/Datrium_Black-Single.jpg)
  - DVX Data Node (HDD モデル) 画像：[http://s3-us-west-1.amazonaws.com/cdn.datrium.com/wp-content/uploads/2018/02/11171053/Datrium\\_White-Single.jpg](http://s3-us-west-1.amazonaws.com/cdn.datrium.com/wp-content/uploads/2018/02/11171053/Datrium_White-Single.jpg)
  - DVX Software GUI 画像：<http://s3-us-west-1.amazonaws.com/cdn.datrium.com/wp-content/uploads/2017/10/02104451/DVX-Dashboard-new-large.png>
- 

## デイトリウムジャパン合同会社について

デイトリウムジャパンは、米国デイトリウム社の日本法人として、2018 年に設立されました。米国デイトリウム社は、ハイパーコンバージド インフラストラクチャー思想の先を見据えてデザインされたオープン コンバージド インフラストラクチャーをリードする企業です。同社の I/O 高速化システムは、コンピューティング、プライマリーストレージ、バックアップを統合し、ハードウェアの限界を超えた I/O の高速化を実現するとともに、ハイブリッド クラウド インフラストラクチャーの管理と保護を大幅に簡素化します。同社は、Data Domain の CTO や創業者、VMware の初期のプリンシパル エンジニアが率いています。

---

### 【本件に関するお問い合わせ先】

デイトリウムジャパン合同会社 広報担当：羽鳥（はとり）

TEL：03-5786-2284 / [pr.japan@datrium.com](mailto:pr.japan@datrium.com)

Facebook：<https://www.facebook.com/datriumjapan/>